

女子埴輪から考える
～東国文化は、古墳時代も「かかあ天下」!?!～

千代田町立東小学校 6年A組
羽中田 桜花



女子埴輪から考える～東国文化は、古墳時代も「かかあ天下」!!～

千代田町立東小学校 6年A組 羽中田 桜花

研究動機

今回、私は、学校から東国文化自由研究を紹介されたことがきっかけで、東国文化について調べてみようと思った。

それまで、私は、群馬県に住んでいるのに、東国文化というものを知らなかった。また、私は、今まで古墳や、埴輪にはあまり興味を持っていなかった。しかし、実際に東国文化について調べてみると、意外にも、私の身近にもたくさんの東国文化に関係深いものがあることが解かった。

毎週習い事の行き帰りに通っていた道のそばに、「古海原前1号古墳」があり、近くからは、「椅子に腰かけた女子」の埴輪が見つかることが解わかった。また、よく買い物に行く大型ショッピングセンターの近くには、東日本最大級の大きさの前方後円墳「太田天神山古墳」や「女体山古墳」などがあることを初めて知った。今まで、ただの森や公園だと思っていたところが、実は歴史的にも重要な古墳や、埴輪が発見された所だと知り、驚いた。そして、私は、古墳や埴輪に興味を持ち、他の古墳や埴輪も見てみたいと思った。そして、実際に保渡田古墳群（「保渡田八幡塚古墳」「二子山古墳」「薬師塚古墳」）や「綿貫観音山古墳」「かみつけの里博物館」に足を運んだ。古墳ができた当時の姿を復元した「保渡田八幡塚古墳」や「かみつけの里博物館」で、本物の埴輪を見て、特に、埴輪について興味を持ったので、今回、埴輪について調べてみることにした。

研究目的

群馬県から出土された埴輪と、他の地域から出土された埴輪の違いを比較検討して研究したいと思う。そして、東国文化の特徴をまとめたいと思う。

研究方法

「東国文化副読本」や「HANI一本」などの本や、インターネットを使って、出土された埴輪から解かることを調べてみることにした。

研究内容

埴輪について調べてみると、埴輪で初めて国宝に指定された「挂甲武人埴輪」は、何と、群馬県太田市飯塚町から出土していた。国宝が群馬県内から出土していることに、驚いた。体には挂甲をまとい、足には膝鎧と脛当てをつけている。右手には太刀の柄、左手には弓を握り、背中には矢を入れるゆぎを背負っている。隅々まで、細かくとても丁寧に作れている。

こちらも、古墳全体が国宝に指定された、「綿貫観音山古墳」から出土された、「両手を腰に当てる振り分け髪の男」は、鈴付きの帯を締め、上衣の裾にも鈴を付けている。細かい部分まで表現されている。大きな美豆良と左右に振り分けた髪型が特徴的な埴輪で、髪型まで詳細に表現している。

国指定重要文化財の「塚廻り古墳群第4号古墳」から出土した、「飾り馬」は、鞍、壺鐙、手綱などの基本装備に加えf字形鏡板、鈴付胸繁、鈴付杏葉など馬具をフル装備している。馬具まで、とても細かく表現している。

このように、群馬県内の古墳で出土した埴輪は、どれも細部まで詳細に作られている。リアルに再現された装飾品などから、古墳時代当時の人々の様子が手に取るようにわかる。このようなことから、当時の埴輪作りの職人の熟練の技を埴輪から感じられる。



中でも、私は、女性の埴輪いわゆる女子埴輪に、特に興味を持った。

重要

① 国の文化財に指定されている、伊勢崎市豊城町から出土された

「埴輪女子立像」は、女子としては非常に珍しく全身が表現されている。

古墳島田には、髻を止める櫛と、鉢巻が巻かれている。服装は、上着

には鱗模様、裳には縦縞が描かれ、結び目の蝶結びまで細かく表現され

ている。耳より大きいイヤリングや、ネックレス、ブレスレット、刀子

(小刀)など装飾品まで、細かく表現されている。これほど盛装の表現

は珍しく、特別な職についていたか、高い位の女性の埴輪と考えられる。



② 古墳全体が国宝に指定された、高崎市の「綿貫観音山古墳」から出土

された、「正座し祭具を捧げる巫女」は、上着の縁取りが、ブランケット

ステッチで、裳には縦縞が描かれ、縫い目まで細かく表現されている。

イヤリング、ネックレス、ブレスレットなどの装飾品も細かく表現され

ている。



③ 国指定重要文化財に指定されている太田市の「塚廻り古墳群第4号古墳」

から出土した「太刀を持つ巫女」は、魔除けの意味を持つ鋸齒門模様の櫛を

かけて、胸の前で蝶結びしている様子まで、立体的に表現されている。

右手に持った太刀や、イヤリング、ネックレス、ブレスレットまで細かく

表現されている。



④ 高崎市の「上芝古墳」から出土した、「坏をささげる女子」は、古墳島田を束ねたりボンが立体的に表現されている。水玉模様の上着に、魔除けの意味のある鋸歯門模様の襷と、帯締めをしめている。上着や襷、帯締めの模様まで繊細に表現されている。勾玉が付いたネックレスと、丸い球のネックレスを二重に付けている様子や、ブレスレットなど装飾品まで細かく表現されている。



古墳時代の女性の服装がとてもおしゃれだと思い、群馬県以外の土地から出土した女子埴輪の服装も気になり調べて比較してみることにした。

⑤ 京都市船井郡京丹波町にある、「塩谷5号古墳」から出土した「巫女型埴輪」は、上着は、長袖だが、その上に裾の長いもとがある上着を着て、帯紐をゆったりとかけている様子が表わされている。裳は縦縞で、ネックレスやイヤリングなどの装飾品も表現されている。



⑥ 大阪市高槻市にある、「今城塚古墳」から出土した「巫女埴輪」⑤と同じく、上着の袖か裾が大きく広がっていて、その上に帯紐をしめている様子が表されている。



⑦ 宮崎県新富町にある「新田原 58 号墳（百足塚古墳）」から出土した巫女埴輪。魔除けの意味のある鋸歯門模様の上着を着ている。⑤、⑥と同じく、上着の袖か裾が大きく広がっている。



福岡県八女市にある「立山山 13 号古墳」から出土した「壺を持つ女子」。上着の柄が細かく表現されている。⑤、⑥、⑦と同じく、上着の袖か裾が大きく広がっている。

九州

このように、群馬県以外の地域（西日本）で出土された女子埴輪の特徴として、袖か裾が大きく広がっている上着を着ていることが分かった。どんな服装だったのだろうかと色々と考えてみたが、どうやら大きな長方形の布を肩から袈裟懸けのように身に着けているようだ。私も、実際に大きな長方形の布を使って、肩から身に着けてみた。すると、裾の生地がもたついている箇所がとても邪魔で、動くのには不便だなと感じた。

一方、群馬県内から出土された女子埴輪の服装をみてみることにした。すると、他の地域（西日本）から出土された女子埴輪は、袖か裾のようなものが大きく広がり、大きな布を袈裟懸けしていたが、群馬県内出土の女子埴輪は、そのようなものを身に着けていなかった。

実際に試してみた写真

→

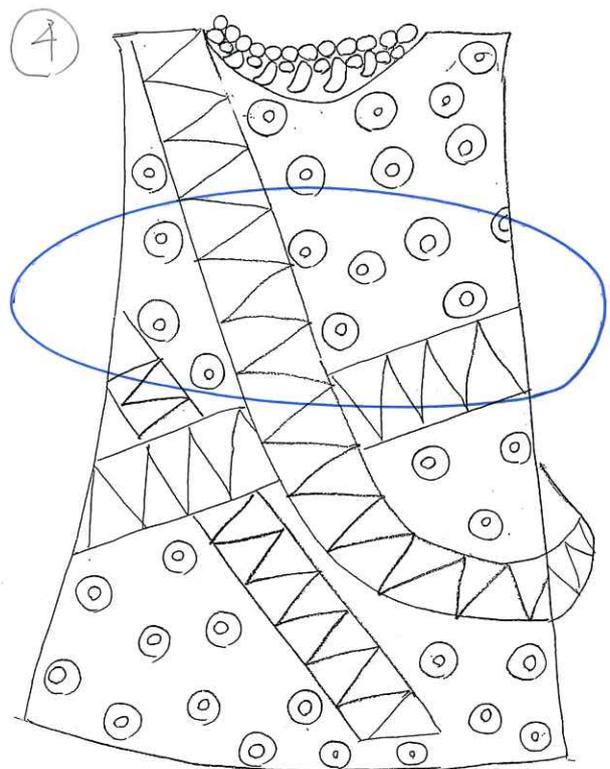
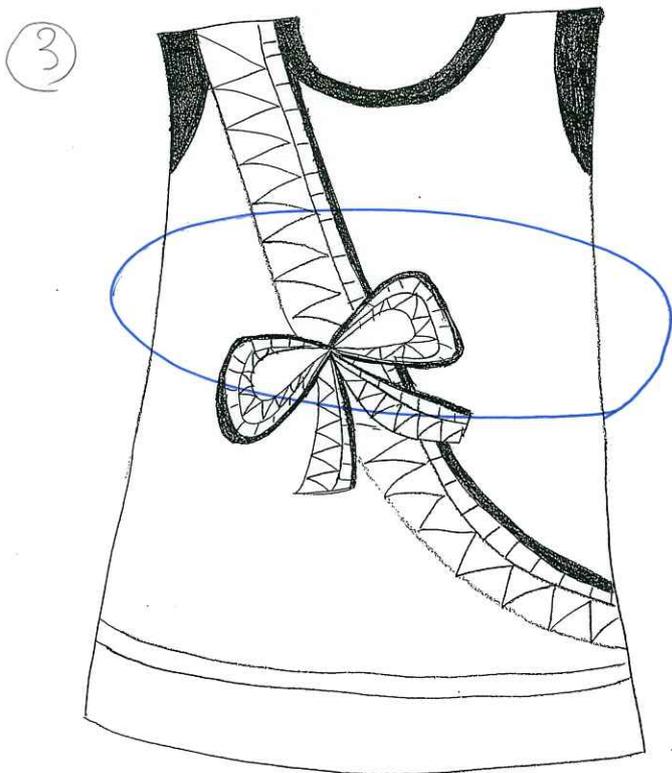
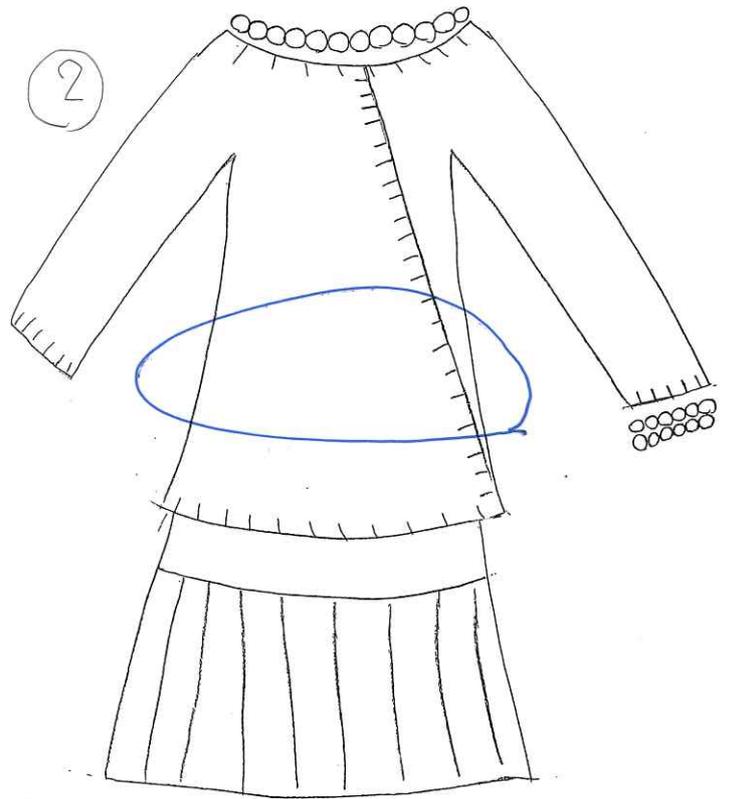
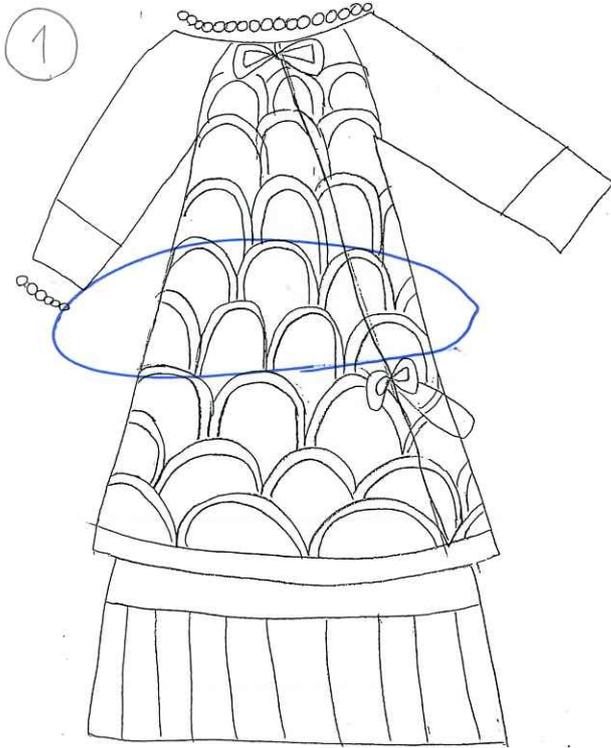
左右の、布のもたつきが邪魔で、動くのには不便だと感じた。



九州

女子埴輪の服装をより分かりやすく理解するために、イラストを書いてみた。

群馬県内で出土した女子埴輪

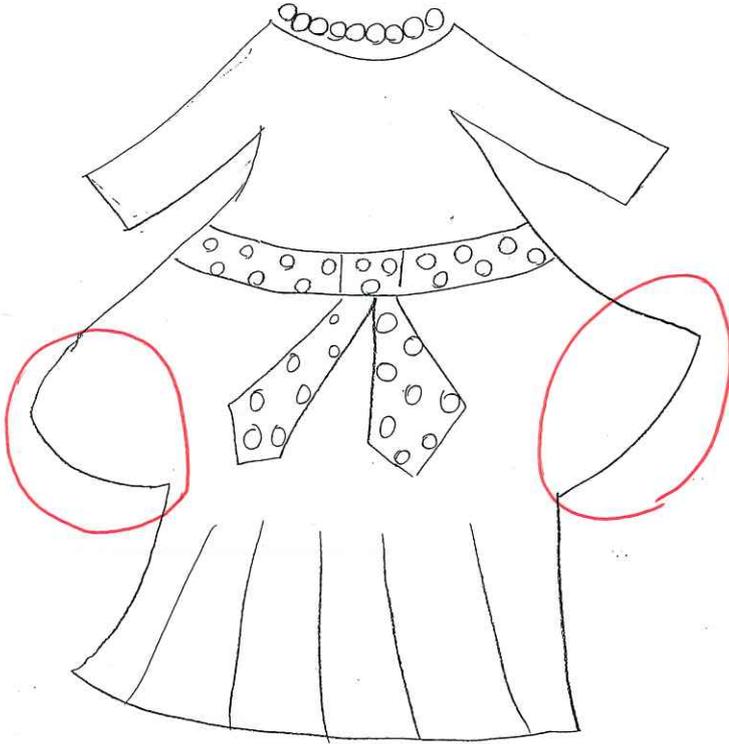


袖はすっきりとしていて、働きやすそうだったと思った、上着の裾の部分もだぶついていなくて機能的だったと思った。

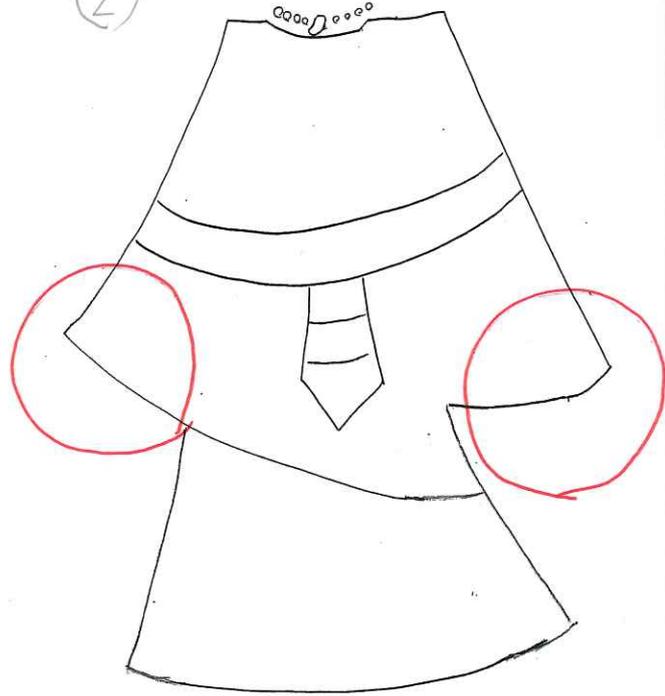
九州

他の地域（西日本）で出土した女子埴輪

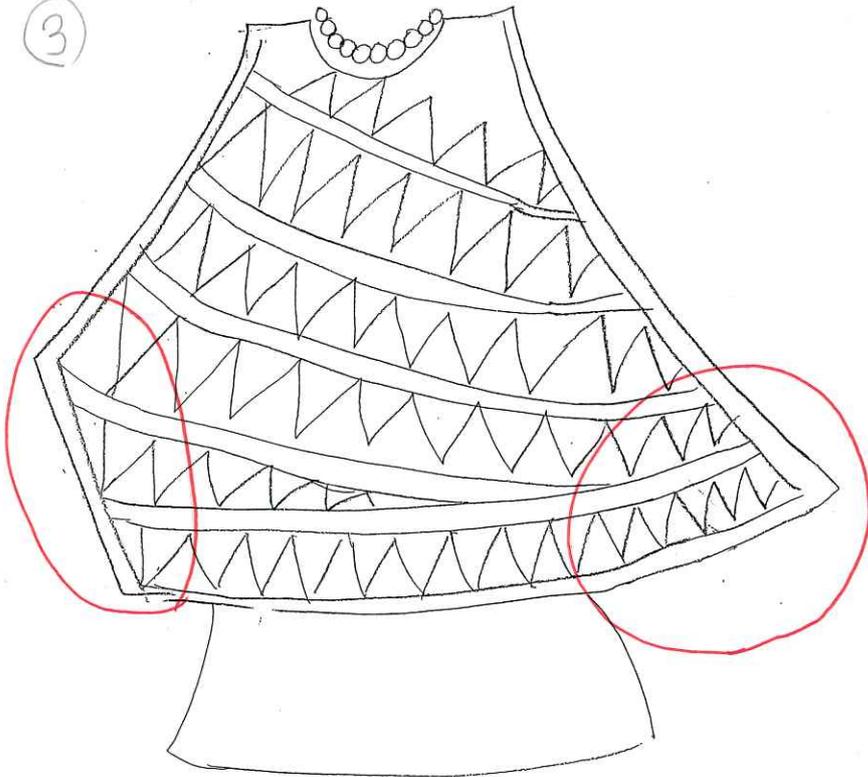
①



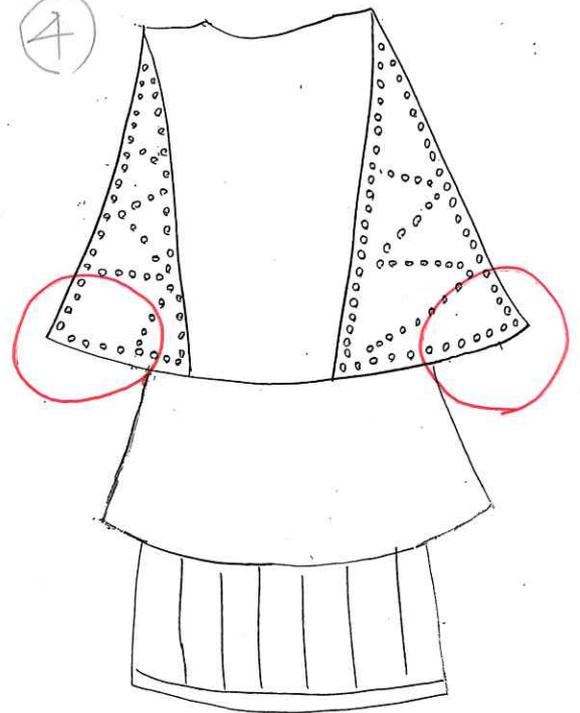
②



③



④



袖の下または、上着の裾の部分に布が多くて、動きにくそうに感じた。

まとめ

国宝の埴輪が出土されるほど、群馬県には、素晴らしい埴輪職人がいたと考えられるにもかかわらず、他の地域

(西日本)^{九州}から出土された女子埴輪には表現されていた布が、ついていないことが分かった。私は、きっと、古

墳時代に群馬県に生きていた女性は、女子埴輪が表すような服装をしていたのに違いないと思った。

では、なぜ群馬県内から出土された女子埴輪は、他の地域(西日本)^{九州}で出土された女子埴輪と異なる服装をしていたのかを考えてみた。

そこで、私は、群馬県には、「かかあ天下」という言葉があった！！ということに気が付いた。

「かかあ天下」とは、「夫を尻に敷く強い妻」という意味と思っている人も多いと思うが、本来は、上州(現在の群馬県)では、働き者でしっかり者な女性が多かったことから、男性たちが自分の妻を「夫が出掛けている間の家を守る強い妻」「俺のかかあは(働き者で)天下一だ」と自慢するときに使われた言葉が、「かかあ天下」の発祥である。

私も、体験してみると、他の地域(西日本)^{九州}の女子埴輪が身に着けている布を付けると、邪魔で仕事ができな
いと感じた。だから、群馬県内から出土された、女子埴輪の服装から、袖や裾がすっきりしていて、仕事がし
やすかった、動きやすかったのではないかと想像できる。このことから、私は、古墳時代の群馬県の女性も、
きっと、働き者の女性だったのではないかと思った。そして、古墳時代から、群馬県は現在と同じように、「か
かあ天下」だったのではないかと思った。それが、群馬県に東国文化が栄えた一つの理由なのではないかと思
った。

これからも、群馬県が誇る「東国文化」を知るために、古墳や埴輪についてもっと調べていきたいと思う。

引用・参考文献

東国文化読本～古代ぐんまを探検しよう～ (2020)

HANI-本 あなたの知らない、はにわの世界 イチ推しはにわ 200 体

ぐんま東国文化ものがたり

かみつけの里博物館

天神山古墳

女体山古墳

古海原前 1 号古墳

保渡田古墳群 (保渡田八幡塚古墳、二子山古墳、薬師塚古墳)

綿貫観音山古墳

e 国宝 国立博物館所蔵 国宝・重要文化財

Colbase 国立博物館所蔵品統合検索システム

http://www.kyotofu-maibun.or.jp/gallery/ibutsu/gallery_file/g-n014.html

blog.livedoor.jp/yamataikokumishima/archives/24120515.html

<http://shintomi-lib.jp/museum/>

<http://riki82.blog78.fc2.com/blog-entry-1146.html?sp>

<https://ja.wikipedia.org/wiki>